

伊那市地域情報化審議会 会議録

開催日	平成28年11月11日（金）					
開催時間	開 会	午後 3時00分	～	閉 会	午後 4時30分	
	委員氏名		出欠	市側 出席者		
委員の 出欠	1	萩原 素之	出			
	2	柳川 広美	出	事務局		出欠
	3	飯島 信子	出	総務部長	原 武志	欠
	4	平澤 きよ美	出	情報統計課長	高嶋 利幸	出
	5	高嶋 厚	欠	情報推進係長	松崎 茂	出
	6	向山 賢悟	出	情報推進係	守谷 泰志	出
	7	水野 哲男	出	オブザーバー		出欠
	8	北原 秀志	出	NPO いなじん	中村 元康	欠
	9	赤羽 芳一	出			
協議事項	(1) パブリックコメントについて (2) 計画（案）の修正について					
配布資料	資料No.1 第3次伊那市地域情報化計画（案）に対する 意見の公表について 資料No.2 第3次伊那市地域情報化計画（案） 資料No.3 第3次伊那市地域情報化計画（案） 修正箇所対照表 （追加） 伊那市地域情報化計画について（答申）					

【 概要 】

1 開 会

2 あいさつ （萩原会長）

3 協議事項 議事進行 萩原会長

(1) パブリックコメントについて

<事務局からの説明>

委 員：健やかという観点、計画書の中に明示されていないが、こういう視点も含まれていると思う。健康状態という情報は重要な個人情報なので、その

扱いと仕組みを含めて相当慎重な準備を要するということが回答の中に含まれていると思う。

委員：色々な情報を市が持っているので個人を特定せずに活用できるものはあると思う。個人情報保護しながら活用すれば更に健康になるという取り組みができると思う。

委員：いかに情報を活用して良い結果に結びつけるかという使い方が理想だと思うが、慎重な姿勢も必要と思う。

事務局：現在健康推進課で、健診データ等を基に分析・活用の検討段階にある。来年度策定する健康増進計画へ御意見を参考にしていきたいということである。

会長：具体的な取り組みを地域情報化計画の中に組み込んでいくことは時期尚早と思う。とすると、健やかという言葉を加えるかどうかということになるが、この審議会で文面として入れるべきだという御意見がなければ、この回答で進めてよろしいか。

各委員：異議なし。

(2) 計画(案)の修正について

<事務局より説明>

委員：資料No.2の16ページの3番の教育現場でのICT活用に学力向上という言葉を入れて欲しい。学力向上のために使うということに重きを置いていただくと、分かりやすくなると思うので、検討をお願いしたい。30ページの3の教育現場でのICTの利活用の実施内容は、最後にキーボードなどの基本的操作能力の向上に努めるという順番で検討をお願いしたい。

委員：最初に機器を整備しますとあるが、まず何のためかがあって、そのために機器を増やす必要がありますという順番が普通と思う。学力向上も教育の質とか効果を上げてというのがあって、それにつなげていくということと思う。

公衆無線LANについては、ハード面の整備をするなら無線LANの整備、使いやすくするサポートまで含めるなら環境の整備と思う。

委員：環境とはソフト面も含めて全部ということか。

委員：サポート面も含めて、もう少し幅広いものが想定されるように思う。そういった計画であれば残すべきである。

委員：17ページに公衆無線LANのサービス環境についてとある。サービス環境にソフト的な面も入ってくれば環境という文字が入っていても良いと思う。

委員：次のIoTへの対応は適切な変更と思う。

スマート農業で、34ページの現状と課題では、農作業の安全確保だけで

はないので、農作業の効率化等が入った方が良いと思う。

15 ページに訪日外国人にも対応したという部分が追加されているが、在日外国人は盛り込む必要はないか。外国語での情報提供とあるがどうか。

事務局：現在のホームページでは、5 外国語にも対応しており、ポルトガル語の通訳も市民課におりますので、ある程度対応がされている。

委員：今回は観光情報に特化しているということによろしいか。

事務局：はい。

委員：11 ページで、インバウンドの対応なのか、インバウンドへの対応なのか、また、訪日外国人への対応でも良いのではないか。

事務局：インバウンドについては、国も統一して「インバウンド」というキーワードを使用しているため、インバウンド対応ということではいかがか。

委員：そのように修正いただければと思う。

委員：タブレット端末の普及に伴い一部の大学生や新社会人などにキーボード操作能力の低下が懸念とあるが、パソコンそのものの操作能力ではないか。

委員：情報端末を道具としてそこから何かを作り出すということが非常に退化してきていると思う。キーボードは現象の1つではあるが本質ではない。

委員：プログラミングは、タブレットでも対応できるように、タブレットをキーボード代わりにも使える。タブレットに頼りすぎる傾向が出てきていると、良くないのではと懸念しているので、この記述で良いと思う。

委員：このページの見出しは情報が身近にあるまちづくりであり、最後にキーボードのことが記載されていると、情報が身近にあるまちづくりとはキーボード能力なのかという感じがしてしまう。

委員：31 ページに少し入っている程度で、現状と課題にはなくても良いと思う。

事務局：前回の会議での、方針、課題、取組に対応していないので記述が必要という御意見をを受けて追加をした経過がある。

委員：これに対応しているのは何ページか。

事務局：16 ページの今後の方針の③につながる。それを受けて、18 ページの項番号2-7の中の具体的な取組につながる内容になっている。

委員：③につなげると考えた場合、キーボードを取り上げなくても情報機器を教育に活用していくと入った方が良いと思う。

委員：抽象的な言い回しの方が良いのではと言うが、こういったものは、より具体的に書かないと後々問題が出てくるということを懸念する。

委員：情報機器を使いこなせない教員が使えるようにして、子供たちの学力向上のために活用していくということである。

委員：教員のICT教育と、生徒がキーボードを使って入力をするということとは別問題である。

委員：現段階で入れる必要はないと思う。小学校ではキーボードが使えるようにしなさいということになっていない。

委員：前回、タブレットを指先で操作することによってキーボード能力が低下す

るということから入れた方が良いのではという意見が出ていた。

委員：31ページに入れてもらえれば良い。

事務局：前回の会議で4名程の委員からキーボード操作能力の低下が就職先等で問題になっているという御意見をいただき、記述をさせていただいた。情報化計画全体として、委員で御判断いただき方向性を出していただきたい。

委員：16ページの③の文章は、教員と生徒が混在になっている。教員が何をすべきかと、生徒がどういうことを身に付けていくかということは、分けて書かなくてはいけないと思う。技術に関しては教員が身に付けたうえで、それを活用して教育を行わなければいけないと思う。ICTを活用しての取組や質の向上を図るとともにキーボード操作などの基本的なリテラシーあるいは利活用能力の向上に努めます、という表現はどうか。

委員：この部分は非常に大事な部分だと思う。2020年に既に小学校の5・6年生に対して、パソコン教育をやるということが国の方針として決まっている。技術の習得とか情報機器の整備をやるという記述をしておかないといけない。その一環としてキーボード操作というものも出てくるから、その事をカットしてしまうということは、いかがなものかと考える。

委員：残すべきところには残すということである。小学生のプログラミングとは、いわゆるプログラミングではなく、プログラミングの基本的な考え方であり、どういう風にコンピュータが利用できるのかという楽しさとか面白さを学ばせることだと思う。

委員：パソコンを教えるといった教育ではない。

委員：プログラマーを養成するといった観点ではない。

委員：その課題については、10月31日付の朝日新聞が出しているアエラに特集が組まれている。

委員：パソコンを教える目的で行う教育はない。想像力を深めたりするために、こういうものを使えるというスタンスだと思う。

委員：今の若い人たちが受け身的に使っている情報機器を、道具として使い何かをつくり出せることを認識させる教育をしようとしていると理解している。

事務局：国の学習指導要領改定の素案段階の資料には、全ての学習の基礎となる力を育む、情報活用能力（プログラミング的思考やICTを活用する力を含む）などといった記載しかなく、表現をどのレベルに留めるかということになると思う。

委員：15ページの（1）として現状と課題が書かれているが、ここに書くにはあまりにも具体的過ぎてしまうと思う。

委員：パソコンでやるか、タブレットでやるかの違いなので、そのところは備えておかないといけないと思う。

委員：キーボードはパソコン機器の中の1つと考えてという事ではどうか。

委員：この部分を16ページの③に入れる形でいかがか。

- 委員：16ページの③に入れるのであれば、それでいいと思う。前回の会議の内容からすると、この部分は外せないと思う。
- 委員：キーボードと書くことに弊害があるのか。
- 委員：15ページの見出しである「情報が身近にあるまちづくり」をキーボードで解決するののかという方向へいってしまいそうでよろしくないと思う。順番が変えられればその感覚は弱まると思う。
- 委員：例えば、文科省でパソコンを使って子どものICT教育をやると決まってくると、見直しをしなければならない自治体も出てくると思う。
- 委員：今はパソコンをただのツールとして使うわけで、それを教えるということは必要ないと思う。③の中にキーボード操作能力の向上に必要なだからというように少し書いてあればよいと思う。現状と課題にあるのは違和感がある。
- 委員：一番問題なのは、それを教える側である。先生方の能力というものが強く求められる。
- 委員：児童生徒のキーボード操作能力の向上は入れない方がよいと思う。
- 委員：具体的な取組事項には記載があり、キーボードを配備するということのサポートという意味合いがある。
- 事務局：15ページの2行を16ページの③に入れて、後段の方へつなげるという形で残すという御意見が多いと思う。その方向での修正でよろしいか。
- 委員：その辺りなら、ある程度収まりがつくと思う。
- 委員：③にまとめるという事だが、学力向上にかかる教職員側のことと、児童生徒側のことと分けて書いた方が分かりやすい。
- 事務局：今、御意見をいただいた方向でよろしければ、事務局で修正案を作成し、皆さんに確認いただきたいと思うが、よろしいか。
- 委員：結構です。
- 委員：IoTへの対応の検討で、より住みやすく、より働きやすい地域への今後の可能性という部分は、より住みやすく、より働きやすい地域づくりに向けた今後の可能性というようになると思う。
- 委員：19ページの5行目の平時からは、日頃から等の方がよい。
- 委員：22ページの②は、内部監査から外部監査への移行なども含むということか。
- 事務局：はい。
- 委員：28ページの1-5の実施内容の箇所は、インターネットと広報を並列記載するのではなく、広報（インターネットやパンフレットなど）となると思う。
- 委員：30ページで、項番2-3のところの携帯向けホームページは、端末を追加して携帯端末向けホームページとした方がよいと思う。
次の項番2-6は、障害者によるではなくて、「障害者のための」か、「障害者向けの」になると思う。

事務局：障害者のための緊急通報手段の広報に修正したいと思う。

委員：キーボードのところだけ「努める」と動詞表記になっている。操作能力の向上を図る授業というように書いた方が良いと思う。

委員：学力向上をメインにして、その下にキーボードという形の方が良いと思う。

委員：先進地視察、シンポジウムが最初で、操作能力向上を図る授業、その次に機器の整備・更新があるとよい。

次の32ページの無線LANで、具体的に民間の観光施設などにも公衆無線LANを整備するということだが、整備するのは民間であり市ではないので推進という言葉遣いが気になる。

事務局：伊那市所有の観光施設の整備を進めていくという指標のため、推進となっている。

委員：では、民間という言葉について御検討いただきたい。項番2-11で、IoTを活用し新たなビジネス化の創出を図りますは、新たなビジネスの創出を図りますがよいと思う。

34ページの項番3-3で、リニューアルした市公式ホームページ及び行政情報番組について利用者の生の声を運営に反映させるとあるが、運営ではなく、意見や要望をコンテンツ作りに反映させるだと思ふ。

次の項番3-5の実施内容は、収集した資料によりではなく、収集した資料を、である。項番3-6は、光回線が使用可能となっているが、光回線による通信が使用可能です、が適切と思ふ。

委員：27ページに、実施内容の進捗状況を把握するため数値化できるものとは書いてあるが、中間点検について事務局ではどのように考えているか。

事務局：毎年、数値化したものの年度末の状況を照会して、目標達成できるよう進めていくことを考えている。

会長：これで、一通りチェックしたことになる。

今後、もう一度会議を行うかどうかだが、それ程膨大な修正があったわけでもないと思うので、各委員に修正いただいたものをメールでお送りいただいて確認ということで十分ではないかと思ふ。次回の会議は省略して、資料の確認をもってかえるということで同意いただけるか。

各委員：はい。

会長：では、次回の会議は開催せず、資料の確認を経て答申に至るということになる。

(3) その他

事務局：会議は今回で最後ということになったので、追加資料を配布してもよろしいでしょうか。

会長：配布してください。

(資料を配布)

事務局：今、お配りした資料は、後日市長への答申をしていただくときの答申書で

ある。本日の御意見を反映した計画書を添付する。なお、答申は、正副会長が代表して行うということで、正副会長に一任していただけるか、皆さんへの御確認をお願いしたい。

会 長：正副会長に一任でよろしいか。

各委員：お願いします。

会 長：承りました。

事務局：答申日程は、調整して正副会長に連絡いたします。

4 その他

特になし

5 閉会